

審査員のみなさんのコメント

中野委員長

まちで主役になるのは、「ひと」なんですよね。これだけの方が議論に参加し、一緒に時間を過ごすということは、とても貴重なことだと思います。練馬というまちがうらやましい限りです。この「ひと」と「ひと」とのつながりを、ここからまた広げていっていただきたいです。もっと広げて、新たな人たちを呼び込んでいただきたいのです。そして、みなさんの力で区を変えてください。今、世の中では様々な事件が頻繁に起きていますが、やはり区役所だけで防止するというのは無理です。だからパートナーシップがあると思います。パートナーという言葉をいつも頭に入れていただいて、区役所のみなさんを徹底的に使っていただきたいと思います。

次は中間報告会もあります。ここでは、審査員に発表しようとするのではなく、地域のみなさんに知らせていくんだというつもりで活動をまとめていっていただきたいと思います。

饗庭副委員長

この公開審査会を毎年楽しみにしております。今日は自分が考えたことのないようなテーマで皆さん活動されていて、1日楽しませていただきました。今後活動していく中で、今日企画を提案されたものにあまり縛られないように、むしろそれを片手に地域に入っていくって、悩みながらベストな方向へ変えていっていただければと思います。

また、私たちはこのような場に集まってくたということをとても大切にしています。「この団体とは協力できそうだな」「この活動のこの部分は活かそう」などあったときには、お互い遠慮せずによく関係を作っていただければ、おもしろい活動になっていくのではないかと思います。

林田委員

すばらしい発表、どうもありがとうございました。ここにいらっしゃるみなさまは、練馬区の大切な地域福祉活動のリーダーの方たちです。今後も益々のご活躍を期待して

おります。今回の審査を通じて、お伝えしてたいと感じたのはネーミングのつけ方についてです。せっかく素晴らしい活動をしていてもなかなか伝わらないもどかしさがある中で、事業の名前、団体のネーミングはとても大切だと思います。地域福祉課とも相談しながら、精査していただきたいです。

古山委員

初めて審査員をやらせていただいて、みなさんと同じドキドキを味わってありました。みなさんの発表をみて感じたことは、とてもいい活動をしているのに、なかなか伝わらない、それがとてももったいないということです。自分たちの今年の活動はこれ、プロセスはこのように、と一言ではっきりおっしゃると、このプレゼンでは伝わりやすいのではないのでしょうか。今後もみなさんの活動を私も一緒に見守っていきたく、益々活躍また発展されることを期待しております。

室地委員

講評という話よりもこうやってみなさんが集まって発表しあう、そして様々なネットワークができるということが非常に大事だと思っています。このネットワークを大事にしながら活動して、ぜひ具体的な活動として地域に根付いていくことを期待しています。みなさん頑張ってください。

平野委員

助成は全額というわけにはいきませんでした。全団体の方が選ばれたということでおめでとうございます。今後活動されていく中で、区民や地域の人たちに対して「どういってお金を、どのように使っているか」は大変重要なことになります。「私的利用はしていません」「福祉のまちづくりのために貢献しています」ということをしっかり説明できなければなりません。そのために、具体的にどのような目的で何をやるか、さらに整理していただきたいと思います。

文責：地域福祉課

「ふく・まち」のお問い合わせ

担当：練馬区健康福祉事業本部福祉部地域福祉課

TEL (3993)1111 (代) FAX (5984)1214

ホームページ http://www.city.nerima.tokyo.jp/shogaisha/fuku_machi/index.html

やさしいまち推進担当では、他にも区民の皆さまと福祉のまちづくりを進める様々なとりくみをしています。

- ・福祉のまちづくり 200 人モニター
- ・福祉のまちづくりを推進する区民協議会
- ・建物トータルマネジメントマニュアル作成 など

詳しくはお問合せください
ご参加・ご意見をお待ちしています!

